

★ 3 月 18 日 予算総会で山口議員が会派を 代表して質問を行いました

① 留守家庭子ども会事業について

公明党は、今回、市長提案である、午後 5 時までの無料化について、基本的に賛成しましたが、議会では否決され、現行と同じく有料のままになりました。この無料化とセットで保護者の皆さんから要望が、現行小学校 3 年生までを 4 年生までとすることを強く要望しました。

また、春夏休みなどの長期休業日の対応について、その範囲を 4 年生まで拡大すべきと質問。これに対し、4 年生の春・夏休みの休業期間中に限って受け入れるよう前向きに検討するとの答弁がありました。

② 外郭団体の改革について

外郭団体で、株式会社への出資に対しては見直し、経営評価については全ての団体に対して行うべきではないかと質問。出資目的や意義、経営状況を勘案しながら総合的に判断すると答弁がありました。



③ 市民協働事業と NPO 助成について

NPO 活動支援基金について寄付額が本当に少なく、この制度の周知が足りないのではないかと質問。今後どのような対応を考えているのかを質問。これに対し、NPO と協働で基金を活性化する取り組みを行うと答弁がありました。また、シニアインターンシップ（定年退職者の NPO・ボランティアグループへ体験入学）を導入してはどうかとの質問についても、NPO と相談会を行うと前向きな答弁がありました。

④ 学校規模の適正化事業について

過大規模校の解消についての対策の状況や福岡市の学校規模の適正化事業について、山田教育長・吉田市長の見解を尋ねました。小規模校の教育課題の解決については、学校の統合などを視野に入れ対応していき、過大規模校の解消方法について（松島小学校の場合など）は、学校の分離・新設も視野にいれ、校区の再編など検討していくとの答弁がありました。



★ 20 年度予算に反映された公明党市議団の主張を紹介します

この3月議会で成立した福岡市の平成20年度予算には、山口議員をはじめ公明党市議団が強く主張してきたことが数多く反映されています。その中からいくつかを紹介します。

① メタボリックに着目した「特定健診」「特定保健指導」を開始

40歳から74歳までの国民健康保険加入者に対し、メタボリックかどうかを判断する「特定健診」とメタボ該当者には必要性に応じた保健指導を行う「特定保健指導」を開始します。

② 妊婦健康診査の拡充

赤ちゃんの成長とお母さんの健康を守るために重要な妊婦健康診査の助成回数を現在の2回12440円から5回34000円に拡充します。

③ 新・放課後等の遊び場づくりモデル事業

全児童が放課後等に身近で使い慣れた小学校施設を活用し、安全に安心して、自由に自発的に、遊び場や活動ができる居場所を提供します。子どもの心身の健全な育成を図ります。

④ 東部療育センター整備事業

青葉4丁目に設置される、就学前の障がい児に対し総合的な療育を行う東部療育センターについて子ども総合計画に基づき平成22年度の完成を目指し、基本設計・実施設計を行います。

アラカルト

★3月22日 海の中道フラワーピクニック
開会式に参加しました



今年で21回目をむかえる海の中道フラワーピクニック。今年のテーマは、「次世代の子どもたちへ花と緑を」でした。期間は、3月22日から5月6日までです。桜並木の通り抜けなどもあります。皆様、海の中道海浜公園へ出かけてみませんか！

★ 2月24日 松田の7町内会主催の
DIG(災害図上訓練)研修に参加しました



テーマは防災。災害発生時の避難場所や災害弱者に対しどうするか。また、どのような備えが必要かと参加者でディスカッションしました。「自助」自分を助ける「公助」消防・警察など行政が救助する「共助」地域住民で共に助けることで特にこの点について学習しました。DIGとは地図上に基幹道路の位置、公民館、避難所などを確認することで、参加者は班単位で学習しました。